

平成31年度
新生太宰府元年！
主な事業

だざいふ未来 投資予算

問い合わせ 経営企画課 企画政策係(☎内線535)

プラン 1 市民参画の行政、街づくりで地域創生

- ①**広報戦略関係事業** ▶予算 16,063千円
市民の声が届く、市民に声が伝わる市政を実現するため、1月号から「広報だざいふ」をリニューアルし、「くすの記」や「私のだざいふ」コーナーを新設しました。
また、庁舎前での職員による朝のあいさつ運動も始めました。我々市職員にとって市民一人一人がお客様であるという基本に立ち返るとともに、職場の活性化を図ります。そして、三役会議、経営会議を正式に訓令で規定し、より市民本位かつ迅速な意思決定にも努めていきます。
- ②**街づくりビジョン会議事業** ▶予算 4,944千円
従来の総合戦略会議を新たに太宰府の街づくりビジョン会議と位置付け、内外の幅広い人材を募り、中長期的視点や広域的視野を論点に自由闊達な意見交換を行います。

プラン 2 学問の神様にふさわしい教育、子育て

- ①**学校ICT環境整備事業** ▶予算 92,293千円
学力のさらなる向上を目指すため、近隣他市に先駆け、学校へのICT支援員の派遣とICT環境の整備を、計画的・段階的に行います。
また、STEAM教育として、市内民間企業と連携した共同事業を実施し、子どもたちが、さらに視野や見識を広げる機会を提供していきます。
さらに、昨年度実施した「子ども・学生未来会議」の成果を踏まえ、本年度も改善を図りながら実施します。
- ②**小学校水泳授業民間委託事業** ▶予算 11,781千円
児童生徒への効果的な水泳の技能獲得支援と教職員の負担軽減を目的として、市内2小学校の水泳授業の民間委託を実施します。これは、今後見込まれる維持管理費などと比較して、コスト面でも大きなメリットがあります。
- ③**計画的学校施設大規模改造事業** ▶予算 341,968千円
学校施設の整備構想案の検討を進め、個別施設整備計画の早期策定を目指します。また、市内小中学校の特別教室に空調設備



の整備を進め、太宰府東中学校では、校舎トイレの全面改修を行い、学びやすい学習環境の整備及び公共施設のトイレ洋式化を推進します。

- ④**小・中学校給食事業** ▶予算 9,680千円
中学校給食については、ランチサービスの就学援助制度への対象拡大や注文方法の改善などの充実を図ること、喫食率の向上を図りつつ、今後の方向性を打ち出せるよう引き続き検討を進めます。また、学校給食会に対する食材費補助金を計上し、今後も本市の子どもたちの健全な成長を最大限サポートしていきます。
- ⑤**保育施設整備事業** ▶予算 273,921千円
小規模保育施設を1園公募し、特に待機の多い3歳未満の待機児童の解消を図ります。また、既存施設についても増改築などに合わせて、事業者と協議しつつ定員のさらなる増加を図ります。



プラン 3 徹底した行革と超成長戦略で財政再建

- ①**ふるさと納税事業** ▶予算 75,787千円
返礼品の発掘、開発業務を大胆に実施し、太宰府のネームバリューを生かして大幅な収入増を目指すべく「THE DAZAIFU プロジェクト」を開始します。例えば、市内を巡る体験型のお礼品などを検討しています。また、新たな試みとして、筑陽学園高校の甲子園出場を応援するクラウドファンディングを実施しました。今後も積極的に取り組んでいきます。
- ②**創業支援事業** ▶予算 2,000千円
市内創業をさらに促すため、創業塾修了者や商工会の創業者向け個別経営指導を受け、実際に市内にて創業する人に対し、事業開始時に必要となる費用の一部を補助する制度を新設します。



プラン 4 積極的広域連携による大太宰府構想

- ①**コミュニティバス運営事業** ▶予算 162,146千円
市長と語る会などで要望を受けた路線延長についても可能な限り柔軟かつスピーディーに検討し、経費削減や効率性向上を念頭に置いたダイヤ改正に取り組みます。
また、地域公共交通活性化協議会において、持続可能な公共交通網の構築を検討します。
- ②**観光連携事業** ▶予算 11,704千円
観光推進基本計画の実践として、県物産振興会との連携事業や西鉄及び沿線7自治体による共同プロモーションを実施します。近隣とも積極的に観光連携を進めることで本市内外の回遊性を高め、消費単価の向上を目指します。
また、本年度から九州国立博物館を中心とした実行委員会を組織し、文化財などの地域資源を活用して太宰府の魅力国内外に発信し、地域経済、地域社会の活性化を図る事業を展開します。



プラン 5 環境重視の逆転の発想で渋滞解消

- ①**渋滞解消事業** ▶予算 14,140千円
ロードプライシングも視野に入れた交通誘導施策やパークアンドライド・シェアサイクルの活用など本市にとって最善の方策を検討します。
また、道路網と公共交通網の計画策定に向け、人の移動動向を調査分析し、持続可能な公共交通網の構築を目指します。
- ②**道路改修計画事業** ▶予算 503,513千円
舗装の個別施設計画を策定し、補助事業や起債事業の対象となる路線を増やすことで、少しでも多くの自治会要望に対応していきます。
また、必要に応じて計画の見直しを行い、計画的に事業を進めていくことで安全かつ快適に通行できるよう整備します。あわせて、市内を縦横断する国道・県道の維持管理や整備についても、引き続き要望していきます。



プラン 6 民間の知恵を生かした高齢者福祉

- ①**地域包括ケアシステム構築事業** ▶予算 47,924千円
今年度中に市域の西側を担当とする地域包括支援セ

ンターの支所を1カ所増設します。また、既存の地域包括支援センターは、東側担当とし、本所機能を持たせ、役割分担と連携の強化を行います。

- ②**福祉タクシー運営委託事業** ▶予算 14,000千円
心身に重度の障がいのある方の日常生活の利便と社会活動の範囲の拡大を図るため、初乗り運賃助成のタクシー券を年間48枚から60枚に拡大します。

プラン 7 防衛省自衛隊と連携した市民の安心安全

- ①**災害対策事業** ▶予算 3,540千円
自衛隊等の助言を頂きながら、あらゆる災害状況を網羅した豪雨災害シミュレーションを完成させます。
さらに、東西に2つの活断層がある本市における地震災害のシミュレーションについても、被災想定に十分な検討を進めていきます。
- ②**消費者行政・啓発事業** ▶予算 5,580千円
太宰府市消費生活センターにて消費生活に関する様々なトラブルの相談を受け付けます。また、出前講座や市広報及び街頭での啓発を行うとともに、庁内関係課で構成している「消費者安全確保地域連絡会議」において消費者トラブルに関する情報共有、連携を図り、消費生活上のトラブルを未然に防止します。



その他 第五次総合計画 後期基本計画に基づく事業

- ①**ごみ減量72,000人プロジェクト** ▶予算 39,355千円
ごみ減量は、全市民の生活に密着した問題であることを踏まえ、「～もう一歩進もう～ごみ減量72,000人プロジェクト」として、啓発冊子の配布、「古紙等資源再利用事業奨励金」の増額などを行い、常に社会経済情勢の変化に対応し、効果的・効率的なごみ減量に取り組みます。
- ②**人権政策事業及び男女共同参画推進事業** ▶予算 17,340千円
「部落差別解消推進法」や「障害者差別解消法」並びに「ヘイトスピーチ解消法」、いわゆる人権三法の成立など社会情勢の変化に即して現行の「人権尊重のまちづくり推進基本指針」を見直した上、新たな指針に基づく実施計画を策定し、さらに積極的に課題の解決を図ります。また、「第2次太宰府市男女共同参画後期プラン」に基づき、社会のあらゆる分野において男女が共に参画し、責任と喜びを分かち合い、性別に関わらず個人の能力と個性が発揮できる街づくりを進めていきます。

